

令和 7 年 6 月 2 5 日

西成典久教授の著書『高松 海城町の物語』が
令和 6 年度日本都市計画学会論文賞および令和 6 年度日本観光研究学会観光著作賞を
ダブル受賞！

本学経済学部西成典久教授の著書『高松 海城町の物語-瀬戸内の海城が開いた都市デザイン-』（2024 年 3 月、株式会社瀬戸内人）が令和 6 年度の日本都市計画学会論文賞および日本観光研究学会観光著作賞（一般）に選定され、6 月 6 日に東京大学（日本都市計画学会）、6 月 21 日に國學院大学（日本観光研究学会）にてそれぞれ表彰式が執り行われました。個人且つ著作が日本都市計画学会論文賞と日本観光研究学会観光著作賞の両方を受賞するケースはこれまでになく、本書の完成度の高さが広く評価されたものといえます。

つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【日本都市計画学会（1951 年設立、会員数 5,934 名）論文賞】

都市計画の進歩、発展に顕著な貢献を認められる研究論文または新たな学問的知見を有する著作を近年[概ね過去 3 年以内]発表した会員（個人）を対象として選考され、令和 6 年度の論文賞は候補 3 件のうち 1 件が選定された。受賞理由は以下の通りである。

日本都市計画学会論文賞受賞理由：

本書は、地方都市の高松を海城町という着眼点から、城という都市施設であり歴史的資源が都市発展のプロセスに果たした役割を丁寧に著した秀逸な作品と言える。そしてこの論旨を単に都市形成史だけではなく、景観・都市デザイン学の分野も含め、横断的に分析し、論じているもので、精緻な分析とともに従来には例を見ない学術的特徴を有しており、学術成果としても新規性をもつものである。

同時に本作品のもう一つの優れた点として、読者対象を専門家と限定せず、広く一般の読者や中高生でもわかりやすく、読んでいても飽きさせないように、図版、挿絵、コラムなど多彩な工夫を随所に施した編集を行なった書籍として発刊したところである。これによって、学術的であると同時にその知見を広く社会に伝搬させることもできる優れた著書となっている。

以上のように学術的な質と同時に一般社会への訴求力を持った書籍にまとめたことは、都市計画の進歩と発展に対して大変優れた業績であり、日本都市計画学会論文賞に相応しいと判断した。

（日本都市計画学会受賞作品一覧：<https://www.cpij.or.jp/com/prize/award/list.html>）

【日本観光研究学会（1986 年設立、会員数 1,132 名）観光著作賞】

学術および一般の部があり、観光著作賞（一般）は観光産業の進歩・発展や観光文化の普及・啓発に貢献した一般著書に授与している。令和 6 年度は、学会賞全体の応募総数は 11 件、うち観光著作賞（一般）応募 5 件のうち 2 件が選定された。

（日本観光研究学会受賞作品一覧：<https://jitr.jp/about/award/>）

【西成教授の受賞コメント】

この度は二つの学会から大変栄誉のある賞を授与いただき、誠に感謝申し上げますと同時に、大変身に余る思いであります。今回受賞対象となった『高松 海城町の物語』は私にとっては初の単著であり、構想からいえば香川に赴任して約 15 年の歳月を経て結実させた著作であります。本書を通じて、香川・高松が持っている特有の「まちの魅力」と「まちの記憶」を多くの方々に知っていただき、まちづくりの未来に少しでも貢献できることを願っております。本書を執筆するうえで、大変お世話になった方々が多く、この度の受賞も皆様あってのことだと思っております。今後はいただいたご恩を、広く都市計画および観光業界に還元していきたいと考えております。



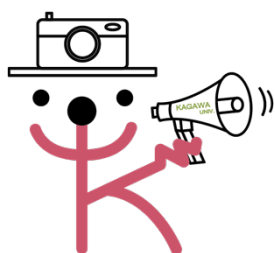
【授賞式の様子】



日本都市計画学会表彰式（東京大学にて）



日本観光研究学会表彰式（國學院大学にて）



➤ お問い合わせ先

香川大学経済学部教授 西成典久

TEL : 087-832-1839

E-mail : nishinari.norihisa@kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合

香川大学幸町地区統合事務センター事務課 久保若菜

TEL : 087-832-1807

E-mail : kubo.wakana.b5@kagawa-u.ac.jp